

令和7年度 第2回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 令和7年5月14日 午前9時30分から

場所 宍粟市役所 4階 402・403会議室

第2回（定例）宍粟市教育委員会会議録

● 開会・閉会の年月日時及び場所

令和7年5月14日（水） 午前9時30分～10時25分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6 宍粟市役所 4階 402・403会議室

● 会議に出席した者の職氏名

教育委員

中田直人 教育長

片山繁樹 委員

飯田さおり 委員

金本一二 委員

中川まゆみ 委員

事務局

大砂正則 教育部長

大谷哲也 次長兼教育総務課長

川本正史 こども未来課長

大田貴久 施設整備課長

中尾善弘 次長兼まちづくり推進課長

鳥羽千晴 教育部次長

中田 吏 学校教育課長

清水将道 社会教育文化財課長

大北真彰 山崎学校給食センター所長

1 開会

中田教育長が開会した。

2 会議の成立宣言

出席者数5名となり、中田教育長が会議の成立を宣言した。

3 会議録署名委員の指名

署名委員は、中田教育長の指名により、中川委員に決定した。

4 前回会議録の承認

令和7年度第1回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件
前回の会議録について、大谷次長兼課長が説明し、承認された。

5 教育長報告

次の3点について、中田教育長が報告した。

(1) 英語検定料補助事業について

昨年度から補助事業を実施しておりますが、今年度の1回目の英語検定が6月1日に実施
されます。71名の生徒が補助金申請を行っています。今後もこの事業を充実させ、英語力、

国語力、また、学習意欲の向上につなげていきたいと思ひます。

(2) 教育環境整備について

令和6年度から実施しております中学校の体育館の空調設備整備に引き続き、小学校の体育館の空調設備整備につきましても、国の補助採択の内定通知がありましたので、令和7年度末に整備を完了させる計画で業務を進めてまいります。また、河東幼稚園・波賀幼稚園の遊戯室の空調設備整備につきましては、遅くとも8月から使用できるよう業務を進めております。今年度計画している空調設備の整備事業につきましても、できる限り早期の完成を目標とし、猛暑時においても児童、生徒、教職員が安心して授業などができる教育環境の整備を進めてまいります。

もう1点、宍粟材を活用した児童生徒用学習机について、今年度は、令和8年度に小中学校1年生になる児童生徒分の机を整備します。後ほど担当課長から報告があります。

(3) 春の芸能祭について

第44回芸能祭が5月18日の日曜日に山崎文化会館で開催されます。委員の皆さんもご都合がつくようであれば、ご鑑賞いただきたいと思ひます。

6 協議報告事項

(1) 宍粟市内小中学校で認知したいじめ事案について

【1～3P】により、中田課長が説明した。

(2) 宍粟材活用児童生徒用学習机購入事業について

【4P】により、大田課長が説明した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(中川委員)

いじめ案件の報告をお聞きして、以前であればインターネットを介したいじめが多かったように思ひますが、教職員の指導により少なくなってきたと感じました。そういった認識であっているのでしょうか。

(中田課長)

インターネット・SNS上でのトラブルは、令和5年度では全体の件数の中で約7%の割合で発生してました。令和6年度では約3%となっていますので、半分ぐらいに減ってきています。ただ、ご心配いただいているとおり、学校の先生方ももちろん気にかけておられますが、なかなかインターネット上のトラブルは見えづらい部分であるため、これからも継続して丁寧に関わっていく必要があると考えています。

(片山委員)

今回のいじめ案件の報告の小学校の件数については倍増となっていますが、これは、細かく丁寧に対応いただいた結果だと捉えています。

それから児童生徒からの訴えによる認知については約半数に当たる28件となっており、これも問題の当事者、当事者に近い子どもがいじめを解消したいという積極的な関わりからということで良い傾向だと思います。

また、5月8日に東京都立川市のほうで、男2人が学校に乱入した事件がありました。これは母親が担任と話をしたが納得できる回答が得られず、後に男2人を呼んだとのことですが、保護者からの訴えについて、もう一度学校としてのルールの確認、組織として保護者へどう対応をするのかの確認を再度行っていただきたいと思います。報道によると担任の先生が1人で対応されていたようですが、まず保護者の訴えを担任等がしっかりと聞いて、それで時間の猶予、1週間なら1週間の間に回答しますと対応するなど、ワンクッション置く状況ができていればこういった事件にはならなかったのかと思いますので、宋栗市では、引き続き細かく丁寧な対応をしていただきたいと思います。

(中田教育長)

学習机購入事業の資料で廃棄処分とあるがこれはどういった意味でしょうか。

(大田課長)

今回購入して更新していく中で、学校で不要となる古い机等を処分するものです。

(3) その他

・宋栗幼児教育支援事業について

当日配布資料により、令和7年度の研究内容等について、川本課長が説明した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(金本委員)

以前に意見した際に難しいと回答をもらっているのですが、公立こども園と私立こども園での職員の交流があれば、市内どの地域でもより充実した幼児教育・保育が受けられるのではないかと思います。私立については、それぞれ園所の教育に特徴があり、他の園所との交流を望まれないかもしれませんが、望まれる私立の園所については、設立当初の千種のこども園がそうであったように、職員の人事交流ができるよう検討していただきたいと思います。

もう1点ですが、千種の子ども園の検討委員会を行っていたころ、将来的に状況が変化し、千種の私立こども園の運営が難しくなった場合は、市教育委員会が責任を持って対応すると話されていました。近い将来、少子化がさらに進むと社会福祉法人の運営が立ち行かなくなることも想定されます。そうなったとき市教育委員会としてどう対応するのか、公立で運営するのか、他の園所へ行くよう提案があるのか、何か考えがあれば教えてください。

(川本課長)

まず公立と私立の交流の場を設けることについて、今までの経緯でわからないところがありますが、交流により幼児教育・保育の質の向上が見込まれることは間違いないかと思いますので、そういった場が設けられるよう検討させていただきます。

もう1点については、子どもの数がかなり減ることは把握しておりますので、さらに進む少子化への対応として、今後こういったことが必要か検討しているところです。

(大砂部長)

職員交流につきましては、毎年研修会等を開催し、公立・民間の保育所・こども園等の先生に集まってもらって意見交換等を行っていますので、そういった部分を引き続き充実させていきたいと考えています。

また千種の私立こども園の運営につきましては、年2回の理事会を開催されておりますので、社会福祉法人としての在り方も含めて、今後その会議の中で協議をしていきたいと考えております。

(中田教育長)

金本委員の意見は人事交流の部分も言われているかと思います。経緯をあらためて確認する必要がありますが、公設民営として設立された千種の私立こども園には、これまで公立が培ってきたノウハウを民間こども園の運営に活かすとして、設立当初、市職員を園長として派遣しています。人事交流にあたっての法的な部分や職員の意識の部分など課題があるかと思いますが、実現可能であればそういったことも検討してみてもどうかと思います。

もう1点の今後のこども園のあり方については、千種の個別案件というわけではなく、同様に子どもの数が大きく減っている北部地域全体の幼児教育・保育施設の課題として、検討する必要があります。今年度中には大枠の方向性を決める必要があると思います。できれば秋ごろから議論の場を設けて、正しい見通しをもちながら検討できればと思います。

7 次回会議の招集について

令和7年6月16日(月)午後4時15分から、宍粟市役所4階402・403会議室において、令和7年度第3回宍粟市教育委員会を開催することとした。

8 閉会

金本委員が閉会した。

会議録署名委員

教 育 長 _____

委 員 _____